Hitachi Koki

日立丸のこベンチスタンド

接触予防装置（保護カバー）（労働省検定合格番号　第Ｄ004号）付

PS15-BS2　（日立丸のこ用別売品）

取扱説明書

使用できるブレーキ付丸のこ……Ｃ 15ＭＡ，＊Ｃ 15ＢＨ，＊Ｃ 15Ｂ，
＊ＰＳＢ-15Ａ，＊ＰＳＢ-15
（＊印付は旧形機種です）

このたびは日立丸のこベンチスタンド（接触予防装置（保護カバー）付）をお買い上げいただき，ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり，正しく安全にお使いください。
お読みになった後は，ご使用になる丸のこ本体の取扱説明書と一緒に，いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

HITACHI

⚠警告，**⚠注意**，**注** の意味について

ご使用上の注意事項は「**⚠警告**」と「**⚠注意**」に区分していますが，それぞれ次の意味を表します。また，「**注**」の意味も説明します。

⚠警告 ： **誤った取扱いをしたときに，使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠注意 ： **誤った取扱いをしたときに，使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお，「**⚠注意**」に記載した事項でも，状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので，必ず守ってください。

注 ： **製品の据付け，操作，メンテナンスに関する重要なご注意。**

丸のこベンチスタンドの使用上のご注意

丸のこベンチスタンド（接触予防装置（保護カバー）付）として，次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警　告

① 組立は取扱説明書にしたがって確実に行なってください。
② 接触予防装置（保護カバー）は，身体がのこ刃に触れるのを防ぐものです。必ず，円滑に動くことを確認してください。
③ ベンチスタンドを必ず固定してください。また，接触予防装置（保護カバー）を必ず取付けて使用してください。このようにしないと，けがの原因になります。
④ 切断時，材料に無理な力を加えたり，材料を急激に送り，本体に衝撃を加えないでください。モーターに無理がかかるだけでなく，ベンチスタンドや丸のこ本体が破損し，けがの原因になります。
⑤ 使用中，のこ刃が止まったり，異常音を発したときなどには直ちにスイッチを切って，使用を中止し，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに点検・修理を依頼してください。
⑥ 誤って落としたり，ぶつけたりしたときには，ベンチスタンド，のこ刃，丸のこ本体などに破損や亀裂がないことをよく点検してください。
破損や亀裂，変形があると，けがの原因になります。
⑦ ご使用前に，丸のこ本体の取扱説明書を必ずよくお読みください。
⑧ 極端に切れ味の悪くなったのこ刃を無理して使用すると，切断時の反力が大きくなり，けがの原因になります。そのままお使いにならないでください。

⚠ 注　意
① ブレーキ付丸のこ以外には，使用しないでください。けがの原因になります。 ② 材料の切断部に釘などの異物がないことを確認してください。刃こぼれだけでなく，反発により思わぬけがの原因になります。

注 • 切断作業は，スイッチを入れた後，のこ刃が全速回転になってから行なってください。

各部の名称
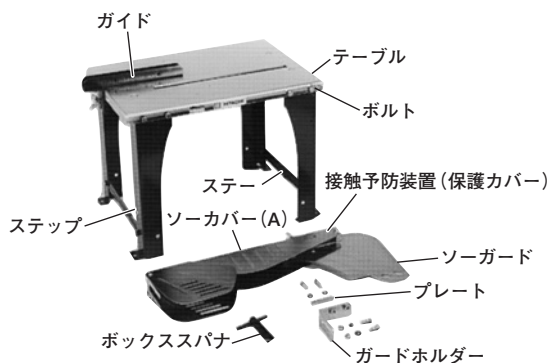
図　1

仕　　様

使用できるブレーキ付丸のこ ····· C 15MA，＊C 15BH，＊C 15B，
＊PSB-15A，＊PSB-15
（＊印付は旧形機種です）

テーブル作業面 ············ 400㎜×550㎜
高　　さ ············ 400㎜
最大切込み ············ 135㎜
使用のこ刃の範囲 ············ 外径362㎜～382㎜

注 • のこ刃を傾斜させての使用はできません。

用　　途

○ 各種木材の切断

組 立 て 方

⚠ 警　告

- **万一の事故を防止するため，必ず丸のこ本体のスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。**
- **ボルト，ねじ，ちょうナットなどを確実に締め付けてください。ゆるんでいると，けがの原因になります。**

1．ベンチスタンドの組立て………

(1) ステップを８本のボルトでテーブルに取付けます。（図２）

(2) ステー（図２右側）をステップに取付けます。

注　**• 左側のステーは丸のこを取付けた後，付けてください。**
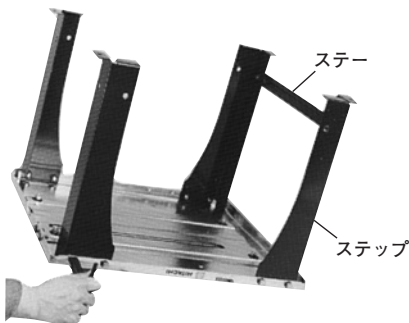
図　2

2．丸のこ本体を取付ける………

(1) 切込み最小の位置にし，テーブルの下側に高さ10㎝程度の台をおいておきます。

(2) テーブルの裏側に４本のネジが出ており，このネジにあるナット，スプリングワッシャ，ワッシャを一度はずし，ネジを丸のこ本体のベースにある穴に通してナットを締めます。（図３，４）

• 必ず，のこ刃がベースに対して直角であることを確かめてから取付けてください。

• ナットを締めるときは，のこ刃がテーブルの溝と平行になるようにしてください。

図　3

テーブルのネジ　ナット　スプリングワッシャ　ワッシャ　丸のこ本体のベース　テーブル
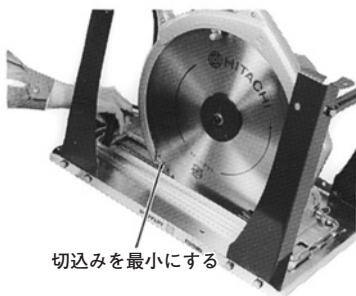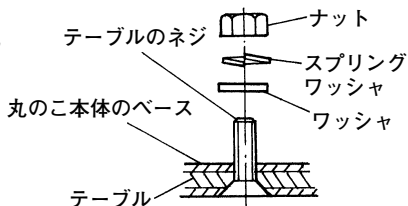
図　4

3．接触予防装置(保護カバー)を取付ける………

(1) まず，ガードホルダに接触予防装置(保護カバー)を取付けます。この際，プレート(当板)などを図5のように重ね，ボルトを締めます。

(2) ソーガードがのこ刃と一直線上になるように，ガードホルダをテーブル後端に取付けます。(図6)
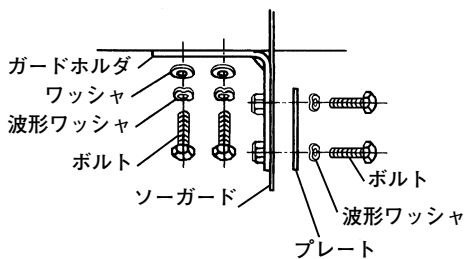
図　5
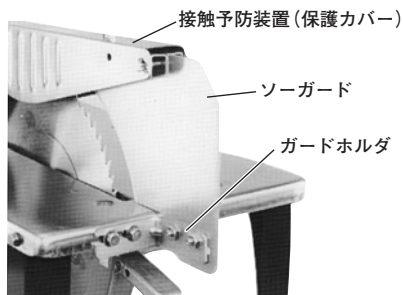
図　6

4．ソーガードの調整………

⚠ 警　告

- **本機のソーガードの厚さは 2㎜です。アサリ幅が 2㎜より小さいのこ刃，また，のこ身の厚さが 1.8㎜を超えるのこ刃は使用しないでください。（図７－１）**
- **ソーガードを調整しても，のこ刃との間隔が 12㎜以下に調整できないのこ刃を使用したり，丸のこ本体の切込みを浅くして使用したりしないでください。けがの原因になります。（図７－２）**

外径が小さいのこ刃を使う場合はのこ刃とソーガードとの間隔が大きくなり（図７－２），ソーガードとしての働きがなくなりますから，間隔を調整してください。

(1) 調整用のボルトをゆるめ，ソーガードを溝に沿って動かすと，間隔がせまくなります。（図８）
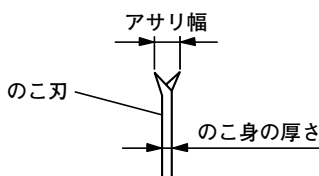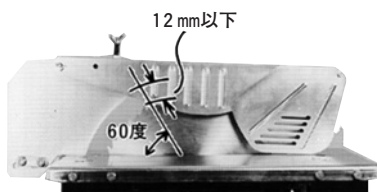
図７－１　　図７－２
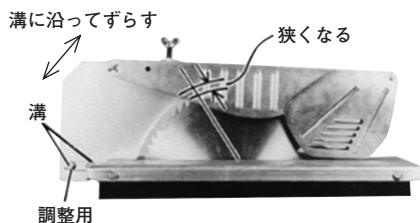
図　８

(2) 調整後はボルトをしっかりと締めてください。

(3) ソーカバーを上げて，のこ刃がソーガードに接触していないことを確認してください。

5．ソーカバーの調整………

ちょうボルトの締め方によりソーカバー（B）の高さが変わります。（図9）

テーブルとの間隔が1～2㎜あくように調整してください。
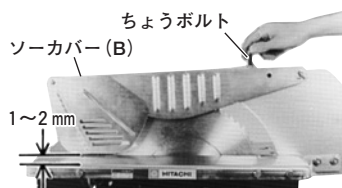
図　9

6．ガイドを取付ける………

(1) ガイドはテーブル前面にちょうボルトで取付けますが，この場合図10のような要領で行ないますと，取付けの固定が確実にできます。

(2) 図10のボルトをゆるめ，ガイドとのこ刃が平行になるよう調整してください。（図11）
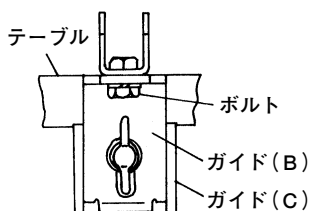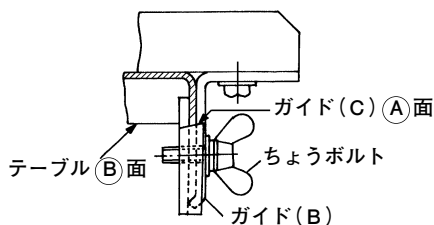
図　10
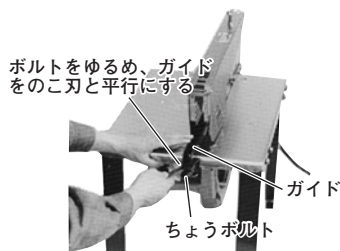
図　11

作業方法

⚠ 警 告
• 接触予防装置（保護カバー）の前にプロテクタ（図12）があります。のこ刃が回転しているときは，絶対に手などをプロテクタの中に入れないでください。 けがの原因になります。 • ステップ下部には固定用の穴が設けてあります。床面に固定してください。 固定しないで使用すると，けがの原因になります。

1．切断位置の調整………

(1) ちょうボルトをゆるめガイドを左右に移動して切断寸法の調整をします。
(2) ガイドは両側を使用できます。

2．切断の仕方………

加工材をガイドに当てながら静かに前方へ押し進めます。
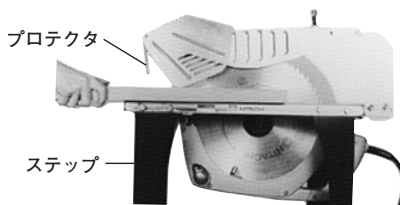
図　12

保守・点検

⚠ 警　告
• 点検・手入れの際は，必ず丸のこ本体のスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

1．のこ刃の点検………

⚠ 警　告
• 極端に切れ味の悪くなったのこ刃を無理して使用すると，切断時の反力が大きくなり，けがの原因になります。そのままお使いにならないでください。

のこ刃の切れ味が悪くなったのをそのままご使用になっておりますとモーターに無理をかけることになり，また能率も落ちますから早めに目立てするか，新品と交換してください。

2．接触予防装置（保護カバー）の動作点検と保守………

接触予防装置（保護カバー）はいつも円滑に動作するようにしておいてください。

3．製品や付属品の保管………

作業後は，必ず丸のこ本体のスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。また，使用しない製品や付属品の保管場所として，下記のような場所は避け，安全で乾燥した場所に保管してください。

○お子様の手が届いたり，簡単に持ち出せる場所
○軒先など雨がかかったり，湿気のある場所
○温度が急変する場所
○直射日光の当たる場所
○引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

このような場所には保管しない。

ご修理のときは

この機体は，厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は，決してご自分で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。

ご不明のときは，裏表紙の営業拠点にご相談ください。

その他，部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら，ご遠慮なくお問い合わせください。

※（外観などの一部を変更している場合があります。）

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(No.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　年　　月　　日	販売店
製造番号(No.)	電話番号

■ 日立工機電動工具センターにご用命のときは、下記の営業拠点にお問い合わせください。

● 全 国 営 業 拠 点

営業本部　〒108-6020　東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティＡ棟）
☎(03) 5783-0626㈹

北海道支店　〒060-0003　札幌市中央区北三条西四丁目1番地1（日本生命札幌ビル）
☎(011) 271-4751㈹

東北支店　〒984-0002　仙台市若林区卸町東三丁目3番36号
☎(022) 288-8676㈹

東京支店　〒110-0016　東京都台東区台東四丁目11番4号（三井住友銀行御徒町ビル）
☎(03) 5812-6331㈹

中部支店　〒460-0008　名古屋市中区栄三丁目7番13号（コスモ栄ビル）
☎(052) 262-3811㈹

北陸支店　〒920-0058　金沢市示野中町一丁目163番
☎(076) 263-4311㈹

関西支店　〒530-0001　大阪市北区梅田二丁目6番20号（スノークリスタル）
☎(06) 4796-8451㈹

中国支店　〒730-0011　広島市中区基町11番13号（第一生命ビル）
☎(082) 228-0537㈹

四国支店　〒760-0078　高松市今里町一丁目28番14号
☎(087) 863-6761㈹

九州支店　〒813-0062　福岡市東区松島四丁目8番5号
☎(092) 621-5772㈹

● 電動工具ご相談窓口 ── お買物相談などお気軽にお電話ください。

お客様相談センター　フリーダイヤル　0120-20 8822（無料）

※携帯電話からはご利用になれません。（土・日・祝日を除く　午前9：00～午後5：00）

電動工具ホームページ ── http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

日立工機株式会社

803
部品コード　99501704　N